

研究・調査報告書

| | | |
|---|----------|--------------------------|
| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
| A-135 | 21-038 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之 |
| 題名 (原題/訳) Effect of Maternal Prepregnancy/Early-Pregnancy Body Mass Index and Pregnancy Smoking and Alcohol on Congenital Heart Diseases: A Parental Negative Control Study 母親の妊娠前・初期の BMI、喫煙、飲酒が先天性心疾患に与える影響：父親をネガティブコントロールとした解析 | | |
| 執筆者 Taylor K, Elhakeem A, Thorbjørnsrud Nader JL, Yang TC, Isaevska E, Richiardi L, Vrijkotte T, Pinot de Moira A, Murray DM, Finn D, Mason D, Wright J, Oddie S, Roeleveld N, Harris JR, Andersen AN, Caputo M, Lawlor DA. | | |
| 掲載誌 J Am Heart Assoc. 2021 Jun;10(11):e020051. doi: 10.1161/JAHA.120.020051. | | |
| キーワード | PMID | |
| 先天性心疾患、胎児期のリスク因子、ネガティブコントロール解析 | 34039012 | |
| 要 旨 <p>目的：先天性心疾患 (CHD) は、先天異常の中でも多く、主な死因にもなるが、原因は不明である。母親の BMI 高値、喫煙、飲酒がリスク上昇に関連することが指摘されているが、因果関係は明らかになっていない。そこで、近年疫学研究にも適用されるようになったネガティブコントロール解析を用いて、母親の妊娠前・初期の BMI、喫煙、禁煙が、子宮内での影響を介して CHD の原因になり得るかを検討した。</p> <p>方法：欧州の大規模な共同出生コホート研究 Horizon 2020 LifeCycle Project より、条件を満たす 7 つのコホートの出生児 232,390 名 (うち CHD 症例は 2469 例 : 1.1%) を対象とした。母親の妊娠前・初期の BMI、喫煙、飲酒が出生児の CHD とその重症度に与える子宮内での影響を検討するため、父親をネガティブコントロールとした解析を行った。母親 (または父親) の年齢、出産歴、人種、社会経済状況、出生児の性別、喫煙 (喫煙の解析以外)、飲酒 (飲酒の解析以外)、父親 (または母親) の曝露因子 (BMI または喫煙または飲酒) で調整したロジスティック回帰分析を行い、メタ解析により各コホートの結果を統合した。</p> <p>結果：母親の標準体重に対する過体重(オッズ比(OR), 1.15 [95%信頼区間(CI), 1.01-1.31])および肥満(OR, 1.12 [95% CI, 0.93-1.36])は CHD リスクと関連があったが、BMI 全体の分布からは明らかなリスク上昇は認めなかった。父親の過体重および肥満、BMI 平均値も同様の結果であった。母親の喫煙(OR, 1.11 [95% CI, 0.97-1.25])は CHD リスクと関連があったが、父親の喫煙(OR, 0.96 [95% CI, 0.85-1.07])は関連がなかった。また、軽症 CHD は母親の喫煙 (OR, 1.22 [95% CI, 1.04-1.44])の影響がより大きかった。母親の飲酒(OR, 1.16 [95% CI, 0.52-2.58])の影響は不明確であり、父親の結果も同様であった。</p> <p>結論：母親の喫煙による出生児の CHD に対する子宮内での影響が示されたが、BMI 高値および飲酒の影響は示されなかった。本研究により、妊娠中の禁煙の重要性がより強調された。</p> | | |